



NEWS

株式会社東部がお届けするインフォメーション・レター

発行所 株式会社東部鉄人ニユース事務局
神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
TEL.042-764-4128
FAX.042-762-9593
編集 鈴木 航
https://www.tobu21.co.jp

Vol.182
2025
10月号

THE TETSUJIN NEWS

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile nextだから出来る!

支持層の大きな高低差へも全杭確実な支持打設貫入

某物流センター 倉庫 新築工事

本件は千葉県長生郡に建設される鉄骨造1階建の物流センター倉庫新築工事です。

計画当初は現場造成杭で検討されていましたが、敷地内9箇所のボーリング調査結果から支持層深度に極端なバラツキがあり、先端深度を合わせるにも掘削長が現実的ではないということで、支持層の傾斜不陸に対応できる、e-pile next工法での比較検討依頼をいただきました。設計面では、支持層深度のエリア分けを行うと共に、想定外の傾斜不陸による杭の増減が発生しても対応可能なよう下杭から上杭まで全て同厚での提案を比較いただいた結果、計画当初の予算内で収まることに加え、工期が短く全体工程の短縮に繋がることも大きな選定理由として、ご採用いただくことができました。

実施工においては、支持層の傾斜不陸対応による杭長の増減はありましたが、全杭確実に支持地盤へ到達し、無事予定工期内に完工できたことで、e-pile next工法を選定して良かったと高い評価をいただきました。元請様には撤入誘導や養生鉄板等の安全対策のご協力をいただき、安全且つ無事に完工する事ができました。ありがとうございました。

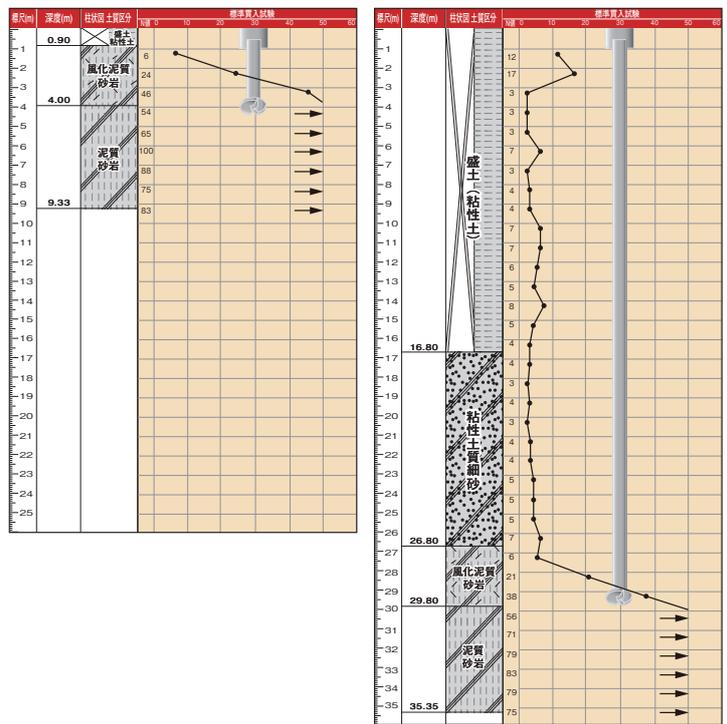
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	某物流センター倉庫新築工事	杭径	φ267.4 mm
施工地	千葉県長生郡	拡翼径	Dw 750 mm、600 mm
用途	倉庫	拡頭径	-
構造	鉄骨造 地上1階建	深度	SGL-4.85m ~ 30.0m
延床面積	3,071.89 m ²	支持力	621kN/本 ~ 429kN/本
工期	2025年8月1日~2025年9月3日	本数	60本

ボーリング柱状図



国土交通省大臣認定工法



全ての鍵は杭先端にあり

公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

登録番号: KT-160071-A

- 国土交通省大臣認定 TACP-0641 砂質地盤(礫質地盤含む) TACP-0642 粘土質地盤
- 日本建築センター 基礎評定(引抜支持力) BCJ 評定-FD0540-02 砂質地盤、礫質地盤、粘土質地盤
- 日本環境協会 エコマーク認定 08 131022号

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を... 「**変型穴**」により解決しました。
- 拡翼変形の問題を... 「**特殊部**」により解決しました。
- コストの問題を... 「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造 / 拡翼断面図



■ FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile

検索

Tobu 株式会社 東部
https://e-pile.com

■ 本社
〒252-0134
神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5
TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971

■ 本店 / 経理室
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-1-2
朝日生命幡ヶ谷ビル6階
TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124

■ 相模原機材センター
〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋 1-4-37
TEL.042-851-2681 FAX.042-851-2682





「日銀、ETF・REIT売却開始へ — 企業経営への示唆」

日本銀行は9月19日、保有するETFやREITを段階的に売却する方針を発表しました。

長年にわたり資産を買い入れて市場を下支えしてきましたが、今回の決定は緩和政策からの「出口」に向けた第一歩と受け止められます。年3300億円程度の売却ペースが示されており、市場混乱を避けつつも徐々に保有残高を縮小する構えです。



今回の動きは、単なる市場調整にとどまらず、今後の金利引き上げや金融環境の変化を意識させるものです。

資金調達コストの上昇リスク、株価や不動産市場の変動、さらには為替への影響も無視できません。

とりわけ借入依存度の高い企業や不動産関連ビジネスには影響が及ぶ可能性があり、投資計画や財務戦略の見直しが求められる局面といえます。

企業経営者としては、短期的な市場の値動きよりも、日銀の政策スタンスが中長期の金融環境にどう波及するかを冷静に見極めることが重要です。

外部環境変化を前提としたリスク管理と資金戦略の再構築が、今後の競争優位につながるでしょう。

(参考:日本経済新聞 2025年9月19日付)

ワンポイント 健康コラム

<<季節の変わり目こそ体調管理を大切に>>

体調管理!

食欲の秋、スポーツの秋といわれる10月は、楽しみが多い一方で体調を崩しやすい季節でもあります。職場でも元気に過ごすためのヒントをまとめました。



① 食欲の秋に注意

秋は実りの季節で、サンマやきのこ類、新米など旬の味覚が次々と出回ります。つい食べ過ぎてしまいがちですがカロリーの摂りすぎは肥満や生活習慣病のリスクを高め、更には午後の仕事効率にも影響します。オフィスでは腹八分目を心がけ、栄養バランスを意識しましょう。野菜やきのこ類は満足感を得ながらカロリーを抑えられます。



② 朝晩の冷え対策

10月は昼間は過ごしやすい気温でも朝晩は一気に冷え込むことが増えます。冷えは体調不良の原因。風邪や肩こり、集中力の低下にもつながります。出勤時や帰宅時に温度差を感じやすいため、軽めのカーディガンやジャケットを常備すると安心です。オフィスの空調に合わせてひざ掛けやストールを使うのも効果的です。体温調整を意識して、仕事のパフォーマンス低下を防ぎましょう。

③ 秋の花粉症に警戒

花粉症は春だけと思われがちですが、10月はブタクサやヨモギなど秋の花粉がピークを迎えます。鼻水やくしゃみ、目のかゆみは業務への集中力を妨げる要因になります。症状が出始めたら早めに市販薬やマスクで対策をとりましょう。

空気清浄機の利用や、オフィスに戻った際の手洗い・うがいも効果的です。体調を万全に整えて、快適な職場環境を維持しましょう。

④ 運動の秋を楽しむ

過ごしやすい気候の10月は、運動を始めるのに最適です。仕事帰りに少し歩く、休日に軽いジョギングやハイキングをするなど、日常生活に取り入れやすい活動を選ぶと続けやすくなります。運動はストレス解消や血行促進、免疫力の向上にもつながり、結果として仕事の集中力アップにも効果があります。仲間と一緒に取り組むとモチベーションも維持しやすく、職場のコミュニケーション向上にも役立ちます。



⑤ 季節の変わり目の睡眠

10月は寒暖差が大きく、自律神経が乱れやすい季節です。寝つきが悪くなったり、夜中に目が覚めると、翌日の業務パフォーマンスにも影響が出ます。就寝前はスマホやパソコンの使用を控え、温かいお茶や白湯で心を落ち着かせると質の良い眠りにつながります。また、寝具を季節に合わせて調整することも大切です。しっかり休養を取ることで、体調を崩しやすい時期を乗り切りましょう。



経理マンが行く

南海トラフ!

<マグニチュード8~9 クラスの地震予想>

こんにちは。管理部経理課の鈴木航です。地震調査研究推進委員会より、将来的に南海トラフ沿いでマグニチュード8~9クラスの地震が発生することが予想されています。大地震の発生は30年以内。しかし、それは1年以内かもしれないですし、明日発生するかもしれないのです。今回は南海トラフ地震への「事前の備え」と、発生時の対応に触れてまいります。



【事前の備え】

地震の発生に備え、地震発生時の対応確認や、非常用の道具を揃える等の対策を行い、被害を最小限に抑えることが大切です。

下記の事前対策を参考にいつ地震が起きても対応できるようにしておきましょう。

■室内の対策

- ・窓ガラスの飛散防止対策を行う ・タンス類、本棚の転倒防止対策を行う
- ・ベッド頭上に物を置かない

■出火、延焼の防止対策

- ・火災警報器の電池切れがないか確認する
- ・漏電遮断器や感震ブレーカー等の設置



■迅速な避難体制、準備

- ・地域のハザードマップからどのような危険があるか確認しておく
- ・安全な避難場所、避難経路等を確認しておく
- ・家族との連絡手段を決めておく
- ・非常持出品を準備しておく



【地震発生時の対応】

■発生時

屋内:窓や本棚から離れ、机の下などで揺れが収まるまでじっとする。

屋外:ブロック塀や自販機、建物の下から離れる。

■発生後(最短で2時間程度)に南海トラフ臨時情報発令の内容によって、臨機応変な対応が必要となります。

・巨大地震警戒

地震の備えを再確認し、発生したらすぐに避難できるよう準備。

地震発生後の避難で間に合わない可能性がある住民は事前避難。

・巨大地震注意

事前避難は伴いませんが、事前の備えを再確認し、発生したらすぐに避難できるよう準備。(常に家族の所在位置を把握、非常用袋

- ・ヘルメット等を玄関に準備、就寝時は枕元に履き慣れた靴を置いておく)

・調査終了

大規模な地震の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。

地震による被害を最小限に抑えられるよう、日頃から地震に備えていきましょう。

